

10 水道の財政状況と水道料金

財政の健全化と経営の安定化に向けて

水道事業は、「地方公営企業」として、その運営に必要な経費は、原則として企業の経営に伴う収入(水道料金)をもって賄うよう法律で定められています。これを「独立採算制」といい、事業の運営にあたっては、本来の目的である公共の福祉を増進するとともに、企業の経済性を発揮することが求められています。

福岡市では、「水の安定供給と節水型都市づくりの推進」などを施策目標に掲げた「福岡市水道長期ビジョン2028」に基づき、各事業を計画的に実施しています。

令和8年度の主な事業と予算額

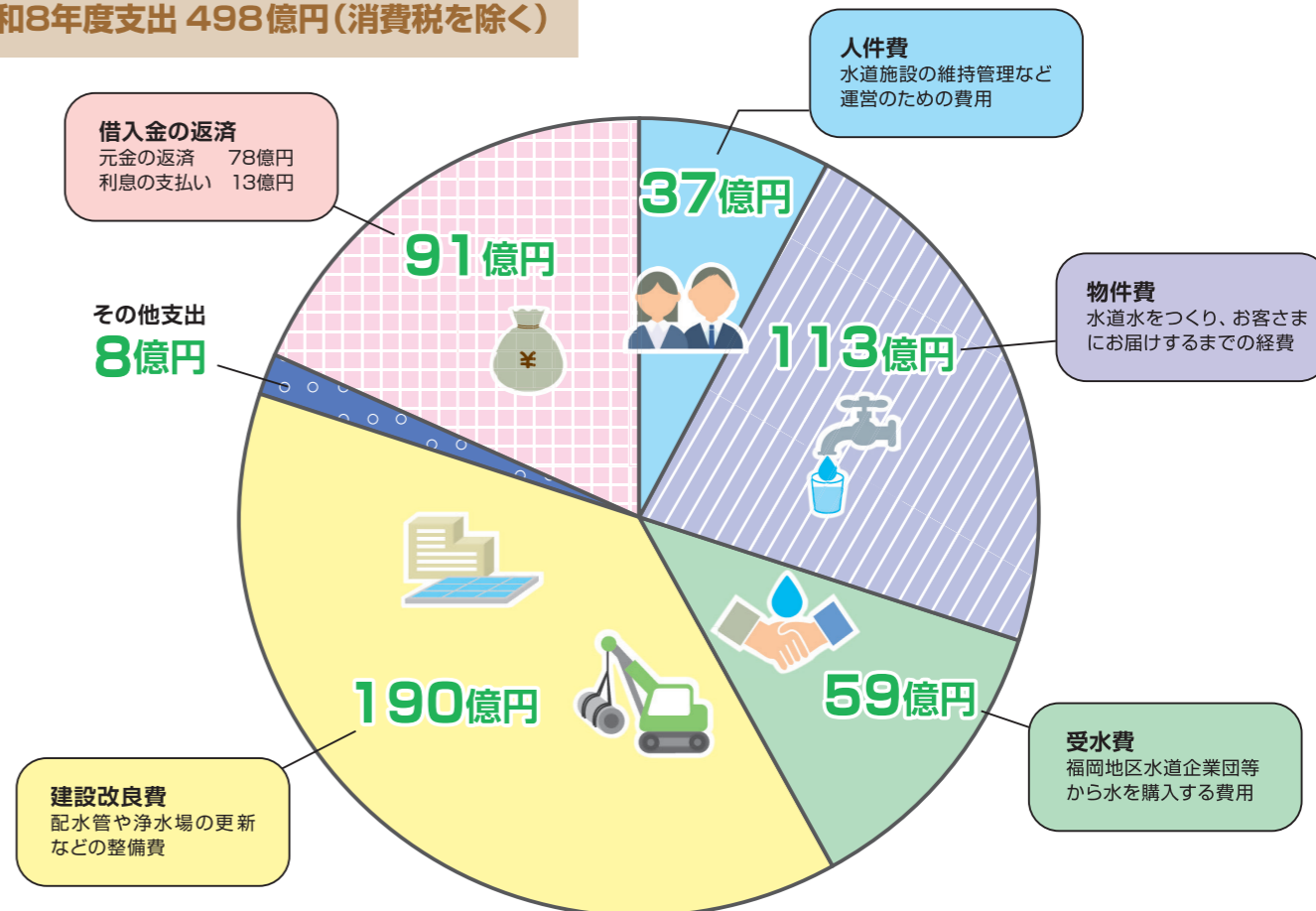
福岡市の水道事業運営の基本計画である「福岡市水道長期ビジョン2028」(平成29～令和10年度)及び実施計画である「福岡市水道中期経営計画」(令和7～10年度)に基づき、毎年度の予算・運営方針を策定し、事業を着実に推進します。

施策目標と取組み概要	主な事業	予算額
1. 水の安定供給と節水型都市づくりの推進 将来にわたり、安定的に水道水を供給するとともに、限りある水資源を有効に活用します。	<ul style="list-style-type: none"> 配水管の整備 配水管の整備(45km) 浄水場の再編 乙金浄水場の増強や高宮系送水管の整備 など	207億 3,025万円
2. 安全で良質な水道水の供給 全てのお客さまに安心してお使いいただける水道水を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> 水源かん養林の整備 水道局が所有する市内水源かん養林の整備(主伐等) 水質管理の充実 水質検査機器の更新 など	1億 3,270万円
3. 危機管理対策の推進 より災害に強い水道を目指して、多様なリスクに迅速かつ的確に対応します。	<ul style="list-style-type: none"> 第2次耐震ネットワーク工事の推進 一時避難所などへの管路の耐震化 重要施設の耐水化 水道局本庁舎の電源喪失対策 など	10億 8,651万円
4. 安定経営の持続 将来にわたり、安定経営を持続させ、経営の基盤となる水道技術を実践に次世代に継承していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報提供 広報紙「みずだより」の発行、こども水道教室の実施 水道DXの推進 IoTセンサを活用したポンプ設備点検の実施 など	3億 3,647万円

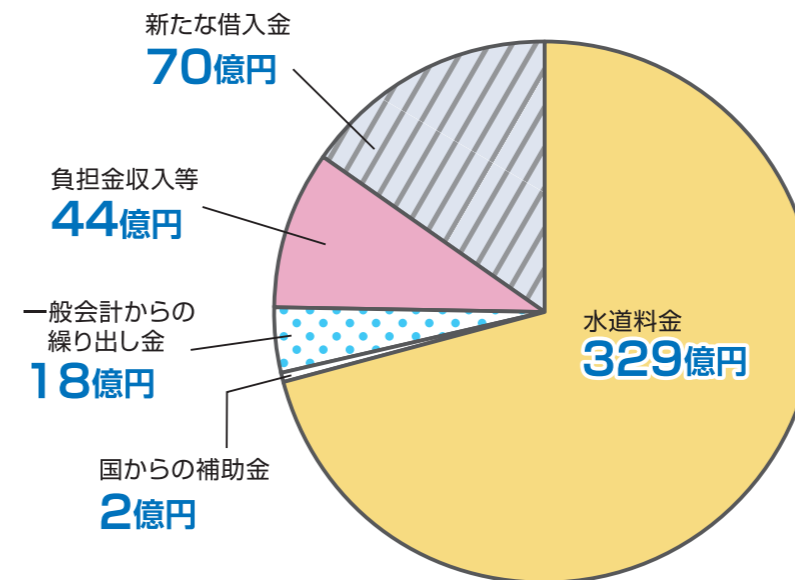
水道事業の財政状況(令和8年度予算)

令和8年度は、事業の運営や水道施設の整備、借入金の返済のため年間498億円を支出し、水道料金や新たな借入金等の年間収入463億円で賄うこととしています。不足する35億円は累積資金(手元資金)により補てんします。

令和8年度支出 498億円(消費税を除く)



令和8年度収入 463億円(消費税を除く)



※年間収入及び支出は、減価償却費などの「現金を伴わない収入や支出」を除いています。

